

三鷹市立第六小学校 令和8年度【道徳】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校生活の場面を切り取った場面から、よりよい学校生活や節度や礼儀などの道徳的価値について考えを深めることができた。 ○文字を学習している最中だったので、文章で自分の考えを表現するより役割演技にて価値について考えることを学習の中心とした。役割演技を行うことで、楽しく実感をもって考えを深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを表現することはできるが、他の児童の考えと交流することが不十分である。 	<p>◎道徳の時間をもっと楽しく深く考えられるように、教材提示の工夫を充実していく。具体的には、場面絵の用意や、動画の用意など。</p> <p>○ひらがなの学習がひと段落したので、文章による自分の考えを表現する経験を積み重ねていく。</p> <p>○自分の考えと他の児童の考えを比較するために、小グループでの学び合い、話し合いができる時間を意識的に設定する。全体共有の時間でも、自分の考えがほかの児童の考えと、どこが同じでどこが違うのか理解できるようにまとめていく。具体的には板書の工夫やICT機器を使ったアンケート調査など。</p>
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペア学習やグループ活動、動作化や役割演技を取り入れることで自分の考えを深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達の考えを聞き、さらに自分の考えを深めることが難しい。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートに自己の振り返りを書くことで、教材と自分を関連付けながら学習を進めることができた。 ○自分の考えを文章で表現することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値について考えを深めることの個人差が大きい。 ○場面の捉えが難しく、自分の経験と関連付けることが難しい児童がいる。 	<p>○自分事として捉えられるように、発問を工夫し、より自分の生活に生かせる授業となるよう改善していく。</p> <p>○ICTを活用し、アンケートの実施や考えの共有等に活かす。</p> <p>◎自分の考えをまとめる時間、ペアやグループなどで考えを伝え合う時間を設定する。</p>
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用することやペア、グループで話し合う機会を設けることで、多面的・多角的な考えに触れることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○具体的なフレーズを提示することで対話を深め、議論を活性化することが必要だった。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に教材や友達の考えに触れ、自分の考えを発表しようとしている。 ○登場人物の気持ちを考えながら、自分の生活と結び付けて考える姿が見られる。 ○話し合い活動では、友達の意見を聞き、自分との違いや共通点に気付こうとしている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の立場や気持ちを多面的・多角的に考えることに課題が見られる。 ○学習したことを日常生活の行動に結び付けて実践することは、個人差が見られる。 ○自分の生活を振り返り、よりよい行動について具体的に考えることに課題がある。 	<p>○何を考えるのか、どのように話し合い、何を振り返るのかを明確にした授業を行う。</p> <p>○教材と日常生活を結び付ける発問を工夫し、自分事として考えられるよう支援する。</p> <p>○ペアやグループでの対話活動を充実させ、多様な考えに触れながら、自分の考えを深める機会を設ける。</p> <p>○振り返りシートを活用し、学んだことを実生活で生かす意識を高める。</p> <p>○習得した考えを学校生活や家庭生活で実践する場を設けるとともに、理解が十分でない児童には具体例を用いた補充指導を行い、理解が深まった児童には自分の経験と関連付けて考える発展的な学習を取り入れる。</p>
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「こころのものさし」を活用することや、ペアやグループでの意見交換の時間を設けたことで、自他の考えの違いの気付きが深まり、積極的に発言する児童が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値について考えを深めることの個人差が大きい。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分なりの意見をワークシートに書く意欲が高い児童が多い。 ○自分と異なる意見をもつ児童に対しても否定的にならず、受け止める態度が身に付いている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を広める活動に消極的な児童がいる。 ○意見交流をしても、道徳的価値について考えが深まらない場面がある。 	<p>○道徳的価値、教材、児童の実態を照らし合わせ、主発問を精査する。</p> <p>○教材文で、道徳的価値に深く関わる場面に注目できるように、範読や板書を工夫する。</p> <p>○ペア交流やグループ交流、役割演技などをどのように取り入れると効果的か、児童の思考の流れを意識した指導計画を立てる。</p>
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りでは、学習を通して学んだことを、実生活に活かすような記述が増えた。 ○自分の考えをもち、ペアやグループで伝え合うことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級全体に向けて発表することに消極的な児童が一定数いる。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の経験と物語文を照らし合わせて、自分の生活を振り返ることができる児童が増えてきた。 ○話し合い活動では、友達の意見を認めつつ、自分との違いや共通点に気付こうとしている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをもつことができても、それを発表することに抵抗感が強い。 ○学習したことを日常生活の行動に結び付けて実践するには、教師の言葉かけが必要な児童がいるなど、個人差が見られる。 	<p>○道徳だけでなく、他教科や特別活動、日常生活などで、様々な考えがあることを認め合える学級風土を作る。</p> <p>○机間指導で児童の記述を価値付けるなど、発表しやすくする。</p> <p>○タブレットのアプリを活用して、仲間の意見が匿名で分かるようにし、新たな意見交流のシステムを構築する。</p> <p>○多面的・多角的な考え方ができるようにするために、ロールプレイを通して、様々な立場を経験できるようにする。</p> <p>○教師が道徳授業で学んだことを定期的に振り返り、日常生活と結び付けられるようにする。</p>
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値について、主体的に考えようとする児童が増えた。「どちらがよいのか」と葛藤する場面でも、自分なりの意見をもとうとしている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分と周りの意見を比べ、さらに道徳的価値について考えを深めようとする意識が必要である。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体で意見を述べる活動で、深まりも求めているが、ペアや少数で自分の意見を伝え合う活動を多く行うことで、学びや気付きがより活性化している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今までの経験の違いにより、思考の深まりに差が生じてしまう。 	<p>◎自分の意見を述べやすいように、ペアやグループでの活動を設定し、多様な価値観にふれ、気付きを深められるようにする。</p> <p>○ICT（スライド、タブレット）を積極的に活用し、事前アンケートの結果や意見の共有を視覚的に分かりやすくする工夫を取り入れる。経験の差があっても、すすんで思考できるように促す。</p>